



千地申1号「第33回定期大会」の発言に踏まえた申し入れ

地本大会での代議員発言に基づき、千葉支社と団体交渉を行う！①

1. 東京オリンピック・パラリンピックの成功に向け、労使で安全・安定輸送を基軸とする共通認識に立ち、対応策等について労使議論を前広に行うこと。なお、列車妨害が多発していることから、お客さまと社員・組合員の命を守るために労使で情報共有を緊密に行い、セキュリティ強化等により妨害行為を防止すること。

【労使の向き合い方】

- (組合) 組合として、東京オリンピック・パラリンピックの成功に向けて安全・安定輸送を実現したい。
- (会社) 最優先課題と認識している。特に安全は最優先。そこに向けて取り組むことは変わらない。
- (組合) 労使ともに、という認識か。
- (会社) そうである。



【オリンピック・パラリンピック対応に向けて】

- 出張・研修等は、可能な限り大会期間を避けて対応していく。
- 現場長だけではなく、社員の意見も踏まえながら体制を検討していく。
- 24時間運転はないと考えている。他の輸送機関との調整は生じる見込みである。
- 千葉支社管内の会場最寄駅は上総一ノ宮、海浜幕張、葛西臨海公園、新木場、潮見、両国、鹿島サッカースタジアム。成田空港駅関係についても要員を配置していく。
- 本社・支社からの応援と、大会とは直接関わらない職場・他支社社員等による助勤によって十分な要員を確保し、不慣れなお客さまへの対応と、車イスでのご利用が連続することに備えていく。
- 大会組織委員会からの競技時間等の情報を参考に、どこに要員を配置すべきか検討・調整していく。過去の各スポーツ大会での実績も参考にしていく。
- 工事等は大会期間中を避け、前倒しを基本に実施していく。

【セキュリティ関係】

- 列車妨害は、お客さまと社員の命を守る為に防がなければならない。情報提供にご協力いただきたい。
- 車両センター構内や電留線などへの防犯カメラ増設を進めていく。

東京オリンピック・パラリンピックの成功に向け、安全・安定輸送を最優先課題とし、労使ともに取り組むことを確認！

2. JR東労組に加入していることを理由に、昇職試験・昇格審査・選考審査・車掌試験及び運転士試験の可否、異動及び担務変更、若年出向及びエルダー出向時の出向先会社の選定、指導操縦者及び指導担当者の指定、期末手当の算定等で不利益扱いを行わないこと。

【JR東労組への加入によって不利益扱いが噂されていることに関して】

- 会社は、社員の任用にあたり、就業規則に則り、公正に行っている。
従来より、組合加入の有無、所属組合で差別したことはない。
- 「管理者の皆さんへ」の文書を発出し、各主管部からも、ことある毎に現場長に周知・指導している。助役に対しては現場長を介して指導している。
- 管理者によっては、想いが度を過ぎた発言になることはあり得る。意識付けを継続的に行っていく。



**「組合加入による差別はない。そのような言動があれば会社として対応する」
「会社も社員も、労働組合に介入することがあってはならない」ことを確認！**

その②に続く